

## マイコプラズマ・ニューモニエ核酸同定

マイコプラズマ・ニューモニエ (*Mycoplasma pneumoniae*) は培養に細胞が不要な自立増殖型細菌において最小であるマイコプラズマ属の一菌種です。昨年、我が国では過去10年間で最大と思われる流行がありましたことは記憶に新しいところです。

マイコプラズマの培養・同定には PPLO 培地と呼ばれる特殊な培地が必要であり、生育が遅いため数週間の培養期間が必要とされるので、診断には抗体検査が用いられていました。そのため診断が困難な場合も多く、また感染初期の抗体価上昇が緩慢なこともあるため、有意の感染があったかどうかを調べるペア血清を用いた検査でも判断に苦慮する場合があります。

近年、肺炎は増加傾向にあり、レジオネラ感染症が中高年以上に好発であるのに対し、マイコプラズマは小児から若年世代への感染が多く、またヒトからヒトへ飛沫感染するため、学校内などの集団感染例も珍しくありません。

本検査は LAMP 法により、マイコプラズマ・ニューモニエに特異的な DNA を簡便に同定するもので、マクロライド系抗生剤に高度の耐性を持つ場合も多いため時によっては遷延・重症化するマイコプラズマ感染症を迅速に診断することが可能です。

### 検査要項

項目コード	25603
検査項目名	マイコプラズマ・ニューモニエ核酸同定
検査材料 (採取容器)	喀痰:1.0mL (採取容器55番でご提出下さい) 咽頭・鼻咽頭拭い液 (滅菌プラスチック軸の綿棒で拭い、採取容器55番でご提出下さい)
保存方法	凍結(-20℃)
検査方法	LAMP法(Loop-Mediated Isothermal Amplification)
基準値	検出せず
所要日数	3~6日
検査実施料	300点([D023-4]微生物核酸同定・定量検査)
判断料	150点(微生物学的検査判断料)
定価	9,000円

容器番号	容器	備考
<b>55</b>	<b>感染症遺伝子増幅検査用容器</b>	
	容量	_____
	添加剤	_____
	保管方法	<b>常</b>
	有効期間	_____
	主な検査項目	結核菌群同定 MAC同定-DNA